Vol. 78
S.Steel すてい～る
SPECIAL STEEL
July/2023

目　次

- 「第11回定時総会」を開催 …… 1
- 青年部会「第11回定時総会」を開催 …… 4
- 支部だより　各支部でも総会を開催 …… 5
- 「第4回全国ボウリング大会」を開催 …… 7
- 「はがねの日」記念行事 …… 8
- 2022年度特殊鋼販売加工技士「上級編」合格者名簿 …… 9
- 流通座談会　日本の特殊鋼 …… 10
- 理事会・委員会報告 …… 14
- 事務局だより・編集後記 …… 裏表紙

一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号（鉄鋼会館）
TEL.03-3669-2633・2777　FAX.03-3669-0395
ホームページ　http://www.zentokkyo.or.jp
E-mail　info@zentokkyo.or.jp

「第11回定時総会」を開催

全日本特殊鋼流通協会は2023年6月6日(火)、兵庫県神戸市の「ANAクラウンプラザホテル神戸」で第11回定時総会を開催した。一昨年から開始したオンライン配信も行ったが、会場には約120名が参加。審議された議案は以下のとおりで、委任状提出含む153社の議決で、いずれも原案どおりに承認された。

第１号議案　2022 年度事業報告書及びその付属明細書承認の件
第２号議案　2022 年度賃借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの付属明細書承認の件
第３号議案　理事の辞任及び交代並びに新理事の選任の件
第４号議案　常勤理事の報酬額の件
報告事項１　2023 年度事業計画及び収支予算について
報告事項２　支部長退任における感謝状及び記念品授与について

Withコロナ時代に適応しながら海外研修など集合事業を再開

総会で承認された2023年度における基本的な活動と事業計画の方針は「Withコロナ時代に適応した、従来にも増した魅力ある事業の実施」とされ、内外交流事業として4年ぶりにオーストラリア・シドニーへ海外視察研修を準備していることや、5年ぶりに各支部代表チームが集合する全国ボウリング大会を11月25日に実施することなどが報告された。

理事の交代については、2016年より専務理事を勤められた宮崎義一氏が退任され、元経済産業省でブラザー工業・東京支社経営企画部渉外担当部長の多田俊樹氏が新専務理事として選任されたほか、竹内篤行理事(竹内ハガネ商行・常務取締役)が退任され、新任理事として木村雅昭氏(深江特殊鋼・代表取締役)と三上晃史氏(ノボル鋼鉄・代表取締役社長)が承認された。

支部長についても、2004年から19年間、静岡支部長を勤められた原博康氏(東泉鋼機・代表取締役社長)と2012 ～ 13年、16年に再任され計9年間、九州支部長を勤められた吉永博氏(特殊鋼機・代表取締役社長)が退任され、総会に出席されていた原氏に感謝状と記念品が贈呈された。

櫨巳芳会長から感謝状を贈られる原博康前静岡支部長

会長あいさつ

（一社）全日本特殊鋼流通協会　会長　櫨　　巳芳

オンライン利用でコロナ禍でも学びの場を閉ざすことがなかった人材育成や EDI受発注システム構築など、個社単独では対応できない事業に取り組んでいく

総会の事業報告書でお示ししたとおり、3年に及ぶ新型コロナウィルス感染症の影響により日々の生活習慣が変わり、経済活動においても相当なダメージを被りましたが、ここにきてようやく感染法上の位置付けが5類適用となり、同時にコロナの感染も鎮静化した感が出てきました。他方、世界情勢は、昨年2月にロシアによるウクライナ軍事侵攻、北朝鮮の相次ぐミサイル発射、台湾情勢における米中対立の激化、加えて円安進行と物価上昇等、まさに激動の年といえる一年でした。

特殊鋼流通業界では、5月に鋼材の大幅な値上げに加え、原油および諸資材が高騰する中、サプライチェーンの中間に位置する流通業界の経営環境が非常に苦しい局面を迎えたため、諸資材等のコストアップを販価に転嫁しにくいとの切実な声が上がったことを受け、国に対して「金属産業における取引適正化ガイドライン」等を強く実現していただくべく要望を行うとともに、プレスリリースを配信した年でもありました。

このような中、当協会の事業活動は、昨年のコロナウィルス感染拡大の折は、本部・各支部とも予定していた事業が中止または代替事業をもって実施せざるを得ませんでしたが、唯一、当協会の中核的な事業として位置付けている「特殊鋼販売技士研修講座」は、オンライン化を導入したことで、学びの場を閉ざすことなく邁進することができました。また、「特殊鋼販売技士入門編」については、研修講座開設以来初めて e-ラーニング化を導入して実施しましたが、画期的なことと自負しております。さらに、このほかの事業として、中小企業庁の指導の下『EDI受発注システム』の構築に向けて検討を開始したことや、特殊鋼倶楽部と共同で特殊鋼業界における『ミルシートの電子化』に向けた検討を進めています。

このように、個社単独ではなかなか対応しきれない問題を、当協会は一致団結して今後においても取り組んでまいります。会長に選任されて、二期四年目を迎えることとなりましたが、特殊鋼流通業界がさらなる飛躍を遂げるため、会員各社の発展のため、微力ではございますが、精一杯努力を続けてまいる所存です。引き続き、当協会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げ、私のあいさつといたします。

懇親会

総会終了後の懇親会では、櫨巳芳会長（辰巳屋興業・代表取締役社長）の上記あいさつの後、大同特殊鋼・取締役常務執行役員の山下敏明様が、「モータリゼーションとともに大きく拡大してきた特殊鋼は、内燃機関のEV化で大変革期を迎えている。新たな需要や販路の拡大に迫られているが、メーカーだけでできることは少ない。流通の皆様とタッグを組みながら、特殊鋼は日本の産業に欠かせない存在だと、いま一度知らしめるようがんばろう」と述べて乾杯の発声を行った。抽選会も行われ、盛況だった懇親会の中締めは、久木田至大阪支部長（櫻井鋼鐵・代表取締役社長）が登壇し、「以前、先輩から『サッカーで2-1で勝っているときどうするか』と問われ、『1点リードを守りにいく』と答えたところ『Quitters never win.（臆病者は勝てない）、3点目を取りにいくべき』と教えられたことがあった。大同特殊鋼の山下常務も変革の時代とお話しされた。チェンジを意識して業界発展をはかろう」とあいさつして一本締めで散会した。

あいさつする山下常務（左）と久木田大阪支部長

講演会

小さな体という不利と困難をものともせず
夢をあきらめず、可能性を追い求めた経験をたっぷりと聞く

総会終了後は、元大相撲力士で現在はNHK大相撲解説者、スポーツキャスターとしてテレビ情報番組でも活躍中の、舞の海秀平氏を講師に招き、「可能性への挑戦を」と題した講演会を開催した。

大学卒業2か月前までは、内定していた高校教員になる予定だったが、後輩の急死で「人生」を真剣に考えるようになり、夢であった大相撲へ挑戦しようと決意したという舞の海氏。新弟子検査合格のため頭にシリコンを入れた手術では、過酷な痛みを伴ったことなど、あまり知られていないエピソードが披露され、角界入りまでの執念をあらためて知らされた。

初土俵後は、師匠の出羽海親方（第50代横綱・佐田の山）から、「土俵は丸い、ぐるぐる逃げ回ってもいいから好きに使え、小兵のおまえには許す」と言われたこともあり、自由な発想で取り組んだ超大型力士との名勝負の数々を、臨場感たっぷりに語っていただいた。「相撲は大きいから強いというものではない。自分の強みを、いかに相手の弱いところにぶつけていくか」を常に考えていたという舞の海氏の講話から、「可能性への挑戦」が学べる講演会となった。

〈舞の海秀平氏：プロフィール〉

1968年2月、青森県鰺ヶ沢町生まれ。県立木造高から日大でいずれも相撲部に所属し、1990年に出羽海部屋に入門。新弟子検査を通る身長が足りなかったため、頭にシリコンを入れて合格したエピソードはあまりにも有名。小兵ながら多彩な技で大型力士を倒す取り口から、「技のデパート」「平成の牛若丸」と呼ばれ、相撲ファンのみならず多くの人を沸かせた。最高位は小結、技能賞を5回受賞。2000年5月の現役引退後は、大相撲解説、スポーツ解説にとどまらず情報番組などマルチタレントとして活躍中。

懇親ゴルフコンペ

総会の翌日6月7日（水）には、昨年日本オープン開催の兵庫県の名門コースである「三甲ゴルフ倶楽部ジャパンコース」にて有志による懇親ゴルフコンペを開催した。

9組34名の参加者でホスト役の久木田至大阪支部長の「昨日の総会よりご参加いただきありがとうございます。皆さんの普段の心掛けが良いのか絶好のゴルフ日和になりました」などとあいさつの後、アウトとインに分かれて賑々しくスタートし、タフな難関コースに参加者全員がチャレンジした。

当日は前夜の雨もあがり絶好のゴルフ日和で、全員が元気よくホールアウトした。

その後、櫨巳芳会長の「昨日の総会と今日の懇親ゴルフ大会と、多くのご参加を得て盛大に行うことができありがとうございました」などとの感謝のあいさつで表彰式は始まり、成績発表は司会者の（株）白鋼の八木栄治氏より行われた。

優勝は、碓井鋼材（株）の碓井達郎氏がグロス83、ハンディキャップ10.8、ネット72.2でベストグロス賞と共に獲得した。

準優勝は（株）トーキン松岳大樹氏、第3位には名古屋特殊鋼（株）の鷲野敦司氏、ブービー賞には櫻井鋼鐵（株）の久木田至氏が獲得した。

最後には、碓井達郎東京支部長の「来年の総会は東京開催の年、三上顧問と相談しながら名門のゴルフ場をセットしますので大勢のご参加をお待ちしております」などと中締めのあいさつにより散会した。

■全特協懇親ゴルフコンペ上位成績

順　位	氏名	会社	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優　勝	碓井　達郎	碓井鋼材（株）	43	40	83	10.8	72.2
準優勝	松岳　大樹	（株）トーキン	46	45	91	18.0	73.0
3位	鷲野　敦司	名古屋特殊鋼（株）	48	49	97	24.0	73.0
4位	岡田　　実	北島鋼材（株）	45	45	90	16.8	73.2
5位	藤巻　秀平	（株）F&Cホールディングス	42	48	90	15.6	74.4

神戸市内バス見学会

総会翌日の6月7日（水）、参加13名でチャーターバスで移動しながら神戸市内を見学した。

はじめに訪れたのは、幕末の開港から西洋に開かれた神戸の歴史が現代に残る「北野異人館」 明治中期から大正期の洋風建築物が数多く残る保存地区で、レンガの外壁や尖塔などを備えた建物のほか、館内では重厚なアンティーク家具や調度品、西洋磁器などのコレクションの展示を、思い思いに見学した。

その後は、神戸の地名の由来にもなった「生田神社」に参詣。昼食後は横浜、長崎とともに日本三大チャイナタウンとして知られる「南京町」から、神戸ポートタワーなど港町・神戸らしいフォトジェニックなランドマークがそろう「メリケンパーク」を散策。

洋の東西の歴史的魅力にあふれた神戸の多様な文化に触れる見学会を堪能した。

震災20年を機に設置された「BE KOBE」モニュメントをバックに

北野異人館（左）、南京町と神戸の多様な歴史文化の街並みを散策した

青年部会「第１１回定時総会」を沖縄で開催

青年部会は2023年4月23日（日）、沖縄で部会員15名の参加を得て、第11回定時総会を開催した。

総会に先立って、嘉数高台公園にて普天間米軍基地の遠望及びオリオンビール名護工場の工場見学及び生産されたばかりのビールの試飲を行った。

その後、定時総会を開催。永田副部会長の司会で始まり、岩井部会長が「3年前に沖縄で開催予定がコロナ禍で中止になったが、やっと念願かない訪沖できました。今後は各支部同様に青年部会も積極的に事業を実施していきたい」などとあいさつした。

審議事項の「2022年度事業報告（案）および収支報告（案）」「2023年度事業計画（案）および収支予算（案）」「2023年度の運営委員の選任（案）」は満場一致で承認された。

運営委員は岩佐嘉久氏（イワサ（株））、川中直樹氏（デルタスチール（株））が新たに選任された。部会員の移動については新規加入会員2名の岡田征也氏（北島鋼材（株））、竹内美沙子氏（（株）竹内ハガネ商行）が報告された。

引き続き、2023年度運営委員による「第29回運営委員会」が開催され、部会長に岩井大昌氏（巴鋼鉄（株））を再任。副部会長についても6名すべてが再任された。また、長年青年部会を牽引されてきた八木栄治氏（（株）白鋼）、中島伸夫（中島特殊鋼（株））が顧問を退任された。

その後国際通りの沖縄料理店でビジネスサミット（懇親会）を開催し、翌日は島尻郡八重瀬町にある「ザ・サザンリンクスゴルフクラブ」で懇親ゴルフ会を実施した。

支部だより

支部総会開催

東京支部　開催日：2023年6月14日（水）　開催場所：日比谷松本楼　承認社数：50社（委任状提出含む）

次の議題を審議、承認した。
①2022年度事業報告書（案）　②2022年度収支決算書（案）、監査報告書
③2023年度事業計画書（案）　④2023年度収支予算書（案）
⑤役員選任（案）　⑥協会委員会への支部派遣委員（案）

（左から）あいさつする碓井支部長、竹内顧問、三上部会長

役員選任については部会間で担当委員を含めた異動を行った。新部会長として［総務］三上晃史氏（ノボル鋼鉄・代表取締役社長）、［内外交流］森川和俊氏（伊藤忠丸紅特殊鋼・代表取締役社長）、［広報］藤田憲義氏（藤田商事・代表取締役社長）が就任したほか、竹内ハガネ商行・副社長の竹内美沙子氏が人材育成部会担当委員として新任された。

総会終了後の懇親会で碓井達郎支部長（碓井鋼材・代表取締役）は、「電子化の進展など若い人の知恵も必要になっている。そうしたことも含めて役員改選を行った。いずれにしても皆さんの理解なくして支部の盛会はありません」と協力を呼びかけた。乾杯の発声では全特協元会長の竹内誠二氏（竹内ハガネ商行・代表取締役社長）が、「厳しい行動制限があった3年間、工夫しながらの事業運営ご苦労さまでした」と役員をねぎらった上で、「今期の活動は期待できる。楽しみにしている」とあいさつした。懇親会は4年ぶりの立食形式で活気あふれる雰囲気で行われ、三上部会長が「東日本ブロック合同の海外視察研修や工場見学の再開など、総会で報告があったとおり今年度はコロナ禍前の活動に戻ることになる。多数の参加をお待ちしています」と中締めするまで懇談が続けられた。

大阪支部　開催日時：2023年6月13日（火）　開催場所：ザ・リッツ・カールトン大阪　承認社数：85社（委任状含む）

次の議題を審議、承認した。
第1号議案　2022年度事業報告　　第2号議案　2022年度収支決算
第3号議案　2023年度事業計画（案）　　第4号議案　2023年度収支予算（案）
第5号議案　会員の異動

あいさつする久木田支部長

冒頭のあいさつで、久木田至支部長（櫻井鋼鐵・代表取締役社長）は、「昨年は3年振りに対面での総会を開催したが、今年はこのあと、4年振りに立食懇親会を開催できることを嬉しく思う。足元の特殊鋼需給は国内外とも決して良くないが、自動車向けはこれから回復して来るだろうし、建機向けも持ちこたえており、明るい光が見えてきた。これまでも悪い時期はあったが、日本の特殊鋼や鉄鋼の仕事はなくならなかったし、これからも決してなくならないと思う。全特協では研修制度のオンライン化やEラーニング化に取り組んで来ており、若い人が入って良かったと思える特殊鋼業界、入って良かったと思える全特協にしていきたい」と述べた。

懇親会では、青田英敏・特殊鋼倶楽部大阪支部長（山陽特殊製鋼・執行役員大阪支店長）が来賓を代表してあいさつをし、続いて佐藤友彦氏（愛知製鋼・大阪支店長）が乾杯の発声音頭をとった。福原實晴・全特協大阪支部顧問（南海モルディ・代表取締役会長）による中締めまで、活気あふれる歓談が続き、盛況のうちに散会となった。

名古屋支部　開催日時：2023年6月19日（月）　開催場所：ANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋　承認社数：55社（委任状含む）

次の議題を審議、承認した。
第一号議案　2022年度事業報告（案）
第二号議案　2022年度決算報告書（案）
第三号議案　2023年度事業報告（案）
第四号議案　2023年度収支予算（案）

あいさつする中島支部長

冒頭、中島伸夫支部長（中島特殊鋼・代表取締役社長）が、「この地区の特殊鋼業界は、自動車生産が回復しはじめ、積みあがっていた在庫や仕掛が秋に向け少しずつ解消できそうな兆しが見えてきた。一方で、試作や設備、金型などの投資案件が少なく、まだまだ盛り上がりに欠けているのは否めない。また、様々なコスト上昇や人材不足、カーボンニュートラル対応など業界のみなさんにはご苦労が絶えない状況ではありますが、全特協はますます情報の発信と支部活動の充実を図ってまいりますので、引き続きご協力をお願いしたい」とあいさつ。また、来賓の浅野俊明様（中部経済産業局・産業部次長）から「特殊鋼販売技士をはじめとする各種研修を通じて、今後業界を担う人材の育成に積極的に取り組んでおられ、この業界がますます活性化していくことを期待している」とのお言葉をいただいた。

総会後の経済学者の高橋洋一氏をお迎えし「コロナ大不況後、日本は必ず復活する」をテーマにお話しいただいた講演会は、初の試みとして全国の会員企業様を対象にZoom配信した。

来賓の櫨会長のご挨拶と乾杯のご発声で始まった4年ぶりの立食での交流会では、久々の対面の場に大いに会話が弾み、松岳大樹副会長（トーキン・代表取締役社長）の中締後も歓談が続く、盛会となった。

東北支部　開催日時：2023年6月15日（木）　開催場所：花巻温泉 ホテル千秋閣　承認社数：25社（委任状含む）

次の議案を審議、承認した。
1　2022年度事業報告・会計報告・会計監査報告
2　2023年度事業及び予算計画

冒頭、日下俊之支部長（クサカ鋼材・代表取締役）、全特協本部の伊藤龍也業務部長よりコロナ明けの市況報告を含めあいさつ。続いて事務局・田中照幸氏（ノボル鋼鉄・取締役仙台支店長）より各議案の説明があり、議案は満場一致で承認された。
また井上建室長（大同特殊鋼工具鋼事業部）、秋田憲作氏（産業新聞社東北支局）より市況報告をして頂き活発な質疑応答がなされた。懇親会は、全特協本部の伊藤業務部長の乾杯の発声で始まり、森高臣相談役（関東鋼鉄・代表取締役）の中締めで散会となった。

あいさつする日下支部長

北関東支部　開催日時：2023年6月15日（木）　開催場所：弁慶寿司（群馬県太田市）　承認社数：21社（委任状含む）

支部長挨拶の後、次の議案を審議、承認した。
第1号議案　2022年度事業報告
第2号議案　2022年度会計報告　および　監査報告
第3号議案　2023年度事業計画
第4号議案　2023年度予算
第5号議案　役員変更
その他　　今後の事業について

あいさつする宮内支部長

鈴木至典副支部長（鈴木機械・代表取締役）の開会の辞により定時総会が始まり、宮内保支部長（小山鋼材・代表取締役）は、冒頭のあいさつで「益々の皆様のご協力を得て、北関東地区の皆さんのためになる活動を行っていきたい」と述べた。
長谷川弘和（長谷川ハガネ店・代表取締役）副支部長の閉会の辞で閉会し、懇親会に移った。小金沢秀男氏（カムス・代表取締役社長）の音頭で乾杯した後、歓談。小山範幸氏（野村鋼機・前橋支店長）の一本締めにて散会となった。

静岡支部　開催日時：2023年5月24日（水）　開催場所：中島屋グランドホテル　承認社数：19社（委任状含む）

次の議題を審議、承認した。
第1号議案　2022年度事業報告承認の件
第2号議案　2022年度決算報告承認の件
第3号議案　2023年度事業計画承認の件
第4号議案　2023年度予算承認の件
第5号議案　役員及び運営委員改選承認の件

今年度より役員の輪番制が導入され、支部長を19年間務められた原博康氏（東泉鋼機・代表取締役社長）は「19年の長きにわたり支部長ができたのは皆さんのご協力があったからこそ、今後も静岡支部を盛り上げられるよう尽力したい」と支部長退任のあいさつをした。
また新支部長の三上裕介氏（ノボル鋼鉄・常務取締役）は「同じ中日本ブロックの名古屋支部と交流を深めながら、静岡支部の活動も広め新規会員の参加も促していきたい」と支部長就任のあいさつをした。
懇親会ではサプライズイベントとして原前支部長への花束贈呈も行われ、山浦康成副支部長（サンコー・代表取締役）の三本締めにて解散となった。

中国支部　開催日時：2023年6月6日（火）（書面審議）　承認社数：16社

次の議題を書面審議、承認した。
①2022年度事業報告　②2022年度収支決算　③2023年度事業計画（案）　④2023年度収支予算（案）　⑤会員の異動

九州支部　開催日時：2023年5月19日（金）　開催場所：ANAクラウンプラザホテル福岡　承認社数：22社（委任状含む）

次の議題を審議、承認した。
第1号議案　2022年度事業報告並びに収支決算報告の件
第2号議案　2023年度事業計画並びに収支予算の件
第3号議案　支部役員改選の件
第4号議案　その他（連絡事項）

総会の冒頭、吉永博支部長（特殊鋼機・代表取締役）は「昨年の臨時総会での決議通り、今総会の役員改選において、支部長を他支部から派遣いただく形となった。これは九州支部の正会員の中から適任者が現れるまでの臨時措置ではあるが、会員各社の皆さまには今まで通り九州支部の運営に協力をお願いしたい」とあいさつ。その後、議案の審議へと進み、各議案とも満場一致での承認となった。
また、総会後は4年ぶりに総会懇親会を開催。森永英樹氏（大同特殊鋼・福岡営業所長）の乾杯の発声で幕を開け、長年九州支部の運営に尽力された吉永支部長と津村春美事務局長に、久木田至新支部長（櫻井鋼鐵・代表取締役）より花束が贈呈された。石丸光男副支部長（エムエム建材西日本・執行役員第2営業本部長）の中締めまでの時間、約20名の出席者が親睦を深め、盛会のうちに散会となった。

2022年度「第4回全国ボウリング大会」を開催

■新型コロナウィルス感染防止の観点から「集まらない」大会

全特協では、2019年度からの3年間、台風やコロナ禍により中止を余儀なくされていた全国ボウリング大会を4年ぶりに開催した。ただし、コロナウィルス感染防止の観点から、各支部代表チームが1か所に集合する大会は見送り、以下の内容で開催した。

①日程

2023年2月3日（金）～ 13日（月）のいずれかで実施。

②会場

出場チームごとに最寄りのボウリング場で実施し、1人3ゲームプレーの合計ピン数で競う。

③参加資格

2022年度各支部大会での優勝チームおよび、中止となった2019年度全国大会出場資格チームとし、3名で1チームとする。ただし、重複の場合はそのチームとし、2022年度未開催の支部は2019年度全国大会出場資格チームのみとする（チーム内での出場メンバーの変更は可）

④表彰

各チームより報告のあった成績表を本部事務局が集計し、団体戦、個人戦（男子の部・女子の部）いずれも3ゲームのトータルピン数で順位決定、発表し、賞品は該当チームへ送付する。

■清水特殊鋼チームが6年ぶり2度目の団体優勝を達成し、個人戦男女も制す

各支部から報告された代表チームの成績を集計した結果、2022年度開催「第4回　全国ボウリング大会」は、東京支部代表の清水特殊鋼チームが、第1回大会以来6年ぶり2度目の優勝を果たした。また、3 ～ 5位は、それぞれ2ピン差の大激戦であった。

なお、今年度実施される「第5回　全国ボウリング大会」は、本年5月に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ並の5類感染症に移行されたことから11月25日（土）、東京都港区芝浦の「東京ポートボール」に各支部代表チームが集合して実施することを予定している。

5年ぶりに全国から予選を勝ち抜いたチームが一同に会する通常大会の熱戦が期待される。

第4回 全国ボウリング大会　団体・個人（男子・女子）成績表

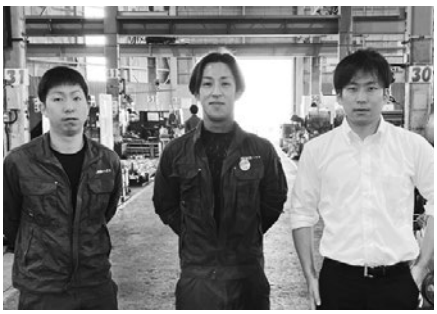
3ゲームトータルピン数・3人1組（女性はHDCP20ピン/1G）

団体の部	支部	チーム名	ピン数
優勝	東京	清水特殊鋼	1,719
準優勝	大阪	堀田ハガネ	1,422
3位	大阪	三和特殊鋼	1,356
4位	名古屋	川本鋼材A	1,354
5位	名古屋	中島特殊鋼	1,352
6位	東京	令和特殊鋼	1,325
7位	東北	藤田商事 東北	1,270
8位	名古屋	川本鋼材B	1,229
9位	北関東	F-MAX	1,182
10位	九州	エムエム建材西日本	1,170
11位	静岡	サンコー	1,159
12位	東京	加藤鋼材	1,066
13位	東北	ノボル鋼鉄 仙台	1,048
14位	中国	南海モルディ 広島	1,041

個人の部	プレーヤー名	1G	2G	3G	トータル
男子　優勝	近藤亮二（清水特殊鋼）	210	233	222	665
〃　準優勝	荒井彰教（川本鋼材A）	197	197	195	589
〃　3位	高山文三（三和特殊鋼）	165	202	183	550
女子　優勝	石野奈央子（清水特殊鋼）	211	179	211	601
〃　準優勝	加藤久枝（令和特殊鋼）	180	120	153	453
〃　3位	濱田仁美（ノボル鋼鉄仙台）	127	111	124	362

※女性はHDCP20ピン/1G含む

優勝した清水特殊鋼チームの左から近藤亮二(個人男子優勝)、竹中清、石野奈央子(個人女子優勝)の各氏


準優勝の堀田ハガネのみなさん

3位の三和特殊鋼のみなさん

第5回全国ボウリング大会開催について(経営効率化委員会)

全国ボウリング大会は、昨年度コロナ禍の影響で代表チームがそれぞれ地元のボウリング場にてプレーする形で実施しましたが、今年度は5年ぶりの東京に集合して以下の内容にて開催します。

(1)日　　程:2023年11月25日(土)11:30 ～ 14:30(含む表彰式・パーティー)
(2)会　　場:東京ポートボウル　(JR田町駅[芝浦口]から徒歩約5分)
　住　　所:東京都港区芝浦1丁目13-10
(3)参加資格:2023年度各支部大会での優勝チーム、及び東京・大阪・名古屋の各支部は準優勝チームとする。
　3名で1チームとし、2ゲームで競うが、女性は20ピン/1ゲームのハンディキャップとする。
　今回は特に出場チームの縛りはありません。
(4)詳　　細:改めて9月末までに全国大会出場案内及び出場申込書を各支部事務局経由にて送付しますので代表となるチームはお申し込みください。

2023年度「はがねの日」記念行事――「はがねの日」イベントレポート――

名古屋支部　4月6日(木)　ボウリング大会　於:星ヶ丘ボウル　参加者数:75名

中島伸夫支部長(中島特殊鋼・代表取締役)の豪快なストライクで始まった名古屋支部のボウリング大会は、25チーム75名が参加。4年ぶりに開催された大会は、笑顔と歓声であふれ、大いに盛り上がった。白熱したゲームの結果、団体戦は愛鋼チームが見事優勝。表彰式では11月の全国大会へ向けた抱負を熱く語った。

[団体の部]
優　勝　愛鋼チーム　1012ピン
準優勝　桜井興産チーム　990ピン
3　位　スチールテックAチーム　896ピン
[個人優勝]
男　子　川本賢史(川本鋼材)　369ピン
女　子　西野芳子(桜井興産)　325ピン

優勝した愛鋼チームのみなさん

個人男子優勝の川本賢史さん

個人女子優勝の西野妙子さん

九州支部　5月27日(土)　清掃活動＆野球観戦　開催場所:PayPayドーム　参加者数:99名

九州ステンレス流通協会と共同で毎年行っている清掃活動＆野球観戦を晴天のもと開催し、会員各社の社員とその家族99名が参加した。今年は参加者の募集を開始後、すぐに定員に達し、応募を締め切るほどの人気となった。正午にPayPayドーム近くの福岡タワーに集合、ドームまでの約1.5kmを参加者がいくつかのルートに分かれてごみを拾いながら、ドームを目指した。清掃活動終了後は、ドーム内5FのJALスカイビューシートで食事をとりながら野球観戦。ソフトバンクホークスVS千葉ロッテマリーンズの試合は、延長12回ホークスのサヨナラで幕を閉じ、盛り上がりを見せた。

大阪支部　4月22日（土）　第9回ファミリーコンサート　於：大阪市中央公会堂　　参加者数：約400名

あいさつする久木田支部長

冒頭、久木田至支部長から、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナへの進攻、トルコ・シリア地震の被災者への哀悼の意が表され、「4年振りにこのコンサートを開催することができたが、ようやくマスクを外してスピーチできるようになった。今日は子供たちと一緒に名曲を心から楽しんでゆっくり寛いでいただきたい」とあいさつがあった。

今回のコンサートでは、京都大学OBを中心とした「シュタール・フィルハーモニー管弦楽団」が「オーケストラの楽器を知ろう」をテーマに、演奏で使用される金管楽器や木管楽器、弦楽器、打楽器の音色や特徴を紹介し、その後、チャイコフスキーの「弦楽セレナーデより第1楽章」、リヒャルト・シュトラウスの「13管楽器のためのセレナード」、モーツァルトの「交響曲第35番『ハフナー』」を演奏した。また、恒例の「指揮者体験コーナー」では、来場した子供が舞台に上がって指揮者にチャレンジし、大きな喝采を浴びた。

演奏終了後には、久木田支部長の奥様より指揮者に花束が贈呈され、ファミリーコンサートは盛会の内に終わった。

2022年度特殊鋼販売加工技士「上級編」合格者名簿

特殊鋼販売加工技士「上級編」は次の各支部でオンラインにて実施し、2023年3月23日（木）の検定試験を経て、4月11日（火）に合格者を発表しました。

2022年度特殊鋼販売加工技士「上級編」合格者数

支部名	受験者	合格者
東　京	30	24
大　阪	14	14
名古屋	30	26
合　計	**74**	**64**

■成績優良者：13名

[東京支部]
藤井　　拓　久野産業（株）
北本　隆太　大洋商事（株）
伊藤　　匠　ノボル鋼鉄（株）

[大阪支部]
山野井健人　古池鋼業（株）
澤野　翔太　ウメトク（株）
藤村亮太朗　小山鋼材（株）
中村　恵一　三和特殊鋼（株）
寺田　輝政　〃

[名古屋支部]
岩瀬　有香　クマガイ特殊鋼（株）
松本　巧揚　佐久間特殊鋼（株）
大場　崚平　サハシ特殊鋼（株）
山崎与志哉　〃
斎藤　高嗣　名古屋特殊鋼（株）

東京支部
合格者24名

新名　祥磨　愛知製鋼（株）
石田　悠樹　碓井鋼材（株）
桑原　義空　岡谷鋼機（株）
更谷　領大　〃
藤井　　拓　久野産業（株）
小玉　知子　JFEスチール（株）
髙澤　壱成　大同興業（株）
北本　隆太　大洋商事（株）
山田　鈴星　〃
大平　涼太　（株）鐵鋼社
坂之上雄太　中川特殊鋼（株）
橋本　　陸　〃
吉武沙玖蘭　〃
伊藤　　匠　ノボル鋼鉄（株）
佐藤駿太朗　野村鋼機（株）
藤井　義人　〃
藤澤　淳史　橋本鋼（株）
折原　尚弥　（株）平井
橋本　健太　福岡スチール（株）
荒川　大樹　（株）マクシスコーポレーション
多田　信悟　三井物産（株）
佐々木一陽　有限会社　森川金属
大木　駿斗　ヤマト特殊鋼（株）
越川　健一　〃

大阪支部
合格者14名

中村　　準　（株）ISS山崎機械
澤野　翔太　ウメトク（株）
藤村亮太朗　小山鋼材（株）
實平　英輝　櫻井鋼鐵（株）
中村　恵一　三和特殊鋼（株）
寺田　輝政　〃
山内　啓介　（株）塩田鋼商店
藍　　千翔　（株）天彦産業
小田　健太　トーステ（株）
山野井健人　古池鋼業（株）
大川　健三　（株）堀田ハガネ
一森　盾哉　〃
蛯原　達也　中川特殊鋼（株）
伊達　椋平　〃

名古屋支部
合格者26名

中島　貴史　川本鋼材（株）
岩瀬　有香　クマガイ特殊鋼（株）
竹内　　緑　佐久間特殊鋼（株）
赤池慎太郎　〃
吉川　　遼　〃
上中　大輝　〃
加藤　耀大　〃
松本　巧揚　〃
大橋　壱成　サハシ特殊鋼（株）
大場　崚平　〃
山崎与志哉　〃
吉見　果穂　スチールテック（株）
ｴｽﾏｴﾙ明日香　〃
清水　彩香　〃
李　　睿元　（株）タカギスチール
永久保勝人　孟鋼鉄（株）
服部　友宏　辰巳屋興業（株）
野口　恭佑　中川特殊鋼（株）
田上　耕大　〃
斎藤　高嗣　名古屋特殊鋼（株）
猪亦実季穂　（株）ハヤカワカンパニー
百瀬　慎平　前田鐵鋼（株）
畑佐　聖人　〃
加藤　　輝　〃
三輪　恋使　〃
太田　洋平　若杉鋼材（株）

流通
座談会

日本の特殊鋼
世界に誇る技術の粋

日刊産業新聞の特集連載「日本の特殊鋼　世界に誇る技術の粋」で2023年4月5日より3日間、全特協の正副会長の〈流通座談会〉が連続掲載されました。特殊鋼流通業界の現状とこれからを考える上で、すべての会員企業に有益な記事となっております。連載全文を本号に転載いたしますので、ぜひお読みになってください。

さまざまなユーザーのニーズに応える特殊鋼産業において、流通の存在は欠かせない。メーカーが生産した製品を在庫し、切断や熱処理、表面処理、機械加工などを手掛け、顧客へ納めるサプライチェーンの一翼を特殊鋼流通が担っている。大手商社から社員数人の会社まで229社が加盟する全日本特殊鋼流通協会（全特協）は、特殊鋼流通業界の人材育成をはじめ、業界の発展に向けた取り組みを日々進めている。櫨巳芳会長（辰巳屋興業社長）と、碓井達郎副会長（全特協東京支部長、碓井鋼材社長）、久木田至副会長（全特協大阪支部長・櫻井鋼鉄社長）、松岳大樹副会長（トーキン社長）の4人に業界の現状やこれからを聞いた。

左から久木田副会長、櫨会長、碓井副会長、松岳副会長

――まず皆さんの会社について。長い歴史を持つこれまでの足跡をたどると。

櫨会長　「当社は1947年に『辰巳屋工業所』として設立し、ばね鋼と自動車用板ばねの専門商社としてスタートした。以降、自動車部品など事業を拡大し、現在の鋼材から自動車部品まで扱う『自動車部品の専門商社』という形になった」

碓井副会長　「鉄スクラップ業が発祥だが、48年に『碓井商店』を創業し58年、現社名の『碓井鋼材』とした。機械構造用炭素鋼、構造用合金鋼など構造用鋼を商売の核に据えた業態へと移り、現在に至る」

久木田副会長　「当社は47年創業の『櫻井兄弟商会』を源流に61年に『櫻井鋼鉄』を設立。特殊鋼を中心に、時代にマッチした事業展開を進めてきた。特殊鋼のほかにもステンレスや非鉄金属、加工品なども扱う」

松岳副会長　「当社は52年に『東洋金属』として創業し、特殊鋼販売を手掛けてきた。特殊鋼の深孔開け加工のBTA加工に対応する。機械構造用炭素鋼、合金鋼、調質鋼の在庫が主体だ」

魅力ある「良い商売」― 松岳氏

――なぜ、特殊鋼の販売を主体としているのか。

松岳　「特殊鋼に魅力があるからの一言に尽きる。先代の父は特殊鋼を売るというビジネスについて『良い商売』と常々言っていた。若いころの私は毎日あくせく働きながら『一体何が良いのだろう』と思っていたが、今になってみれば、取引先や人との関係やつながりが重視され、新規参入の障壁は高く、環境変化も少ない。その上メーカー各社の業績が好調であれば流通も同様に良い業績が出やすい、これらの要素が集まるから『良い商売』だと考えている」

顧客の作業負担を抑制 ― 櫨氏

――国内メーカーの特殊鋼と海外メーカーの特殊鋼の違いは。

櫨　「当社貿易部門の取引を通じて感じるのは、日本と海外では『スタンダード』の定義が違うために、品質や価格、納期など日本では考えられないような対応が起こる、ということだ。特に近年では中国メーカーが力を付け

てきていて、日本の材料では価格面で歯が立たないこともある。しかし、高い品質や確実な納期など、日本材への信頼や安心感から買っていただく事例は根強い。昔話になるが、海外材の仕入れに切り替えた得意先が、生産に間に合わず、国内材を至急で手配するなどの対応に追われてコスト負担が増え、安物買いの銭失いとなってしまった事例もある。国際マーケットで戦う需要家にとって材料を安く仕入れることは最重要課題だろう。一部の顧客はコスト最優先で、材料の事情やそのメーカーの対応などを把握せずに海外材を仕入れようとする。ここで立ち止まって考えてほしいのは、現場の作業負担はどうなるのか、納期遅れの不安を払しょくできる潤沢な在庫確保は可能か、品質は安定するか――といったこと。トータルで、俯瞰で見た時のコストを考慮した調達を需要家の皆さんにはお願いしたい」

櫨会長

輸入材は管理負担大 ― 碓井氏
国内メーカーに軍配 ― 久木田氏

――取り扱いは国内材が中心だ。

櫨　「日本の材料は表面の仕上げなども高品質で、ユーザー側の作業負担を抑える。日系ユーザーが国内材を主軸としている。中国などで設備投資や技術開発が進んでいるが、品質には疑問も多く、安定した供給が欠かせない自動車業界などではまだまだ日本材が優位だと認識している」

碓井　「当社として、鋼材店向けの店売り分野では、国内材がニーズに合致しているため輸入材を扱っていない。輸入材は安く仕入れることができるというメリットに比べ、店売りでは、さまざまな用途に使用されるため、そのリスクの方が大きい。品質のばらつきや、小ロット対応が難しく、在庫管理など負担面も大きい。長さやミルシート、指定の寸法公差に対応するメーカーもあるが、メーカーによってはエキストラ価格が発生するため、安く仕入れることのメリットが薄れる。日本メーカーとの取引が合理的と言える」

久木田　「私も輸入材の扱いはないが、使用している顧客に話を聞くと、サービスやクレームへの対応、品質保証や納期についての考え方が日本メーカーと全く異なり、不満を抱えているようだ。ある海外メーカーでは、最初の注文はしっかりと対応して納期通り入ってきたが、次の注文をお願いしようとすると連絡が途絶え、納期が分からず大慌てなんてこともあったという。さまざまな観点からみても日本メーカーに軍配が上がる」

軸ぶれず安定的利益 ― 碓井氏
自動車産業と共に発展 ― 櫨氏

――ここからは製品ではなく特殊鋼流通業界についてお聞きしたい。業界再編が少ないように感じる。

碓井　「メーカーに比べて流通の再編が活発でない背景には、ここにいる全特協のメンバーがそうであるように、大半がオーナーだからという点に尽きる。創業者から子ども、そして孫と本業本位を代々引き継いでいることが経営の安定につながっている。もう一つ、なぜ生き残ることができたか、これは安定的に利益を生み出し続けてそれを大事にしているから。われわれの扱う特殊鋼はこれまで、他の一般鋼材に比べ市況が短期間に乱高下しにくく、好不況の波はあれど比較的に需要も総じて安定し、顧客と国内外経済の機械産業の発展とともに伸びてきた。特殊鋼の世界は普通鋼に比べ独特な点もある。普通鋼は高炉品と電炉品など国内メーカー間の価格差に加えて、安価な海外材の流入などの問題がある。一方で特殊鋼は鋼種にもよるが、高炉・電炉間の価格差は普通鋼ほどではない、特殊鋼以外の業界からすると『安定している』と見えるのではないか。ただ、足元の販売価格の大幅な値上げは、『山高ければ谷深し』で先行き不透明感に不安を感じるのが正直なところだ」

碓井副会長

櫨　「特殊鋼流通が生き残っている理由は最大需要家の自動車産業と発展をともにしてきたことも付け加えたい。右肩上がりで生産量が増え、サプライチェーンを担うわれわれもこの動きに乗っかってきた。並行して顧客にとって便利な機能が、われわれの成長につながった。鋼材を右から左に流すような取引から、自社で在庫し、即納体制を敷いたり切断したり、機械加工や熱処理まで…と、きめ細かくお客さまの要望を受け止め、全てクリアしてきて成長し、今日に至っている」

松岳　「さまざまな要求に応えてきた努力に加えてニッチで新規参入がない世界である点も大きい」

業界全体で人材育成 ― 久木田氏

――人手不足問題も深刻だ。

久木田　「当社は機械加工設備を自社で持っていないため、約60社の取引先に協力を頂いている。本来は設備を導入することも一つの手ではあるが、ここで人手不足が問題になる。当社は現場、営業、配達の全てで人が足りない。そのため男女関係なく若手を採用しながら、定年の延長も検討したい」

碓井　「現場で働く外国人労働者に関

しては、研修実習生制度を利用したいが、当社は切削機械加工などの設備を保有していないため、現行の研修制度の対象に入らない。人材不足を補うための外国人採用は難しく、求人広告頼みになってしまう。当社は千葉県の浦安鉄鋼団地に本社を置くが、都心に近いがために逆に募集をかけても応募は少ない。人手不足解決も自社単独では難しくなるだろう。外国人労働者に関しては国の柔軟な政策が必要だ。企業は人材不足による人員補充を目的とするが、建前としては研修としている。これがミスマッチングを起こし、現行制度は限界が来ているのではないか。実習生の制度については、切断や玉掛けクレーンなどの業務も対応できるよう風穴を開けようと、経産省金属課が中心となって取り組んでいると聞いている」

久木田「人材育成や人手不足解消に向けた取り組みが進んでいる会社とそうでない会社がある。当協会では人材育成事業があるが、この分野の機能を強化し、業界全体で人を育てるという発想を当たり前のものとしなければいけない」

久木田副会長

生き残りへ変化に対応 ― 松岳氏

――流通の課題は。

久木田「当社の取り扱い製品のうち7割が加工品など、創業者が立ち上げた頃と販売製品が変わってきたが、全く違うビジネスを始めることは考えにくい。ただ、われわれの業界はサッカーで例えると2点先制しておきながら敵に点を入れられないよう、ゴールまわりを全員で固めるような守りが今後も欠かせない」

碓井「当社も久木田さんと同様で、特殊鋼の扱いから始まって加工もする、という形。ここにいるメンバーは、先代、先々代から続く社業の軸があって、そこから派生したビジネスを手掛けるということをしてきた。この軸がぶれることはないのではないか」

松岳「メーカーの再編が進んだように、流通の再編もありうると考えている。マーケットの変化で売り上げが落ち、単独で生き残れないなど、企業が危機に陥ることで再編が進むこともある。生き残るためには、変化に対応し続けることが欠かせない」

櫨「国内人口が縮小に向かう中で、海外へ進出し売り上げを拡大する、という考えもあるが、日本と大きく異なる環境や意思決定の速さについていけないこともある。海外で積極的に攻めに転じることは難しい」

――業界を見渡すと鉄鋼メーカーの姿も大きく変わりつつある。特殊鋼メーカーに何を求めるか。

久木田「当社を含め多くの流通が、先代、あるいは先々代など、長きにわたってメーカー各社と膝を突き合わせつつ歩んできた。この長い歴史に裏打ちされた信頼関係をともに大切にしたい」

松岳「かつて6社あった高炉メーカーが今は3社へ再編され、主用途の自動車では100年に一度の大変革期が到来している。これまで築き上げてきた強固なサプライチェーンの一端を担うわれわれが持つ機能や良さをないがしろにすることは避けてもらいたい。人とのつながり一つから確実に積み重ねていきたい」

松岳「これまでのサプライチェーンを家で例えると、雨漏りを補修してきた形。これからは建て替えの時代が来るかもしれない。その時に基礎となるものが今までの蓄積。その上に新しいものをみんなで創り上げれば、新しい未来が見えてくるのではないか。日本の特殊鋼が持つ重要性やすばらしさを次の世代どのように引き継ぐか、そのためには何をすべきか、みんなで話し合わないといけない」

松岳副会長

機能強化へ、さらに連携

――今後の特殊鋼流通業界のあるべき姿は。

櫨「流通の中には特殊な機能や強みを磨いてきた会社も多い。共存共栄の道であればこの業界はもっと発展するはず。もちろん価格や納期、ロットなど流通間で競争することは当然だが、時には助け合い、スクラムを組んで厳しい時代や複雑な仕事を皆で乗り越える、という発想が極めて重要だ。流通間が手を取り合うことは、大きくなってきた鉄鋼メーカーとの関係性を構築する上でも欠かせない。流通にとって不利益な問題を業界団体が矢面に立って交渉する、これもあるべき姿だ」

松岳「これまで特殊鋼業界は、悪い時にメーカーとともに歯を食いしばりながら乗り越え、良い時はみんなでその実りを享受してきた。ただ、この先も同じように景気の波を乗り越えることができるのか。日本の製造業が衰退し、海外への進出が一段と加速したら、その時に流通は何をすべきか。海外進出はカントリーリスクをはらむ問題でもあり、中小企業にとって大きな負担となる。加工を強化するといっても、仕事が増えるのか。中小企業にとって設備投資はこれまで以上に償却の時間がかかることも想定しなければならず自問は尽きないが、多くのユー

「長い歴史に裏打ちされた信頼関係」と語る久木田副会長（右）と松岳副会長

ザーが日本の特殊鋼を高く評価し、これからも使いたいという姿勢を示してくれている。この優れた材料と日本のものづくりを支えるサプライチェーンとしての機能に一段と磨きをかけて、われわれがさらにお客さまにとって欠かせないものとなり、しっかりとコストを頂けるような形に変えていくべきだ」

松岳「そういった中で、さまざまなモノやサービスが『シェア』される昨今、設備はもちろん人材も共有するといったアイデアも解決策の一つだ。その際にはオーナー系同士が腹を割って話ができる当協会のメリットを生かしていくべきだ。世の中を見渡せば競争する時代から価値観の共有できるもの同士が連携する時代となった。例えば水素還元製鉄については日本製鉄とJFEスチール、神戸製鋼所の3社が連携して政府の支援を受けて研究開発を進めているように、国内の大企業はすでに動き始めている。中小企業であるわれわれも、もう少し高い価値観に立って積極的に参加する必要がある」

櫨「シェアするという点では、DX（デジタルトランスフォーメーション）分野にメリットがあるのではないだろうか。各社が好き勝手受発注のシステムを開発するのではなく、中小企業共通EDIのようなある程度統一したものをお互いが使うことは競争力にもつながり、自社単独では補えないことも埋めることができるだろう」

松岳「DXの連携に関しては賛成だ。というのも当社のような20～30人規模の会社が自社単独で取り組むことが非常に難しいからだ。当社もそうだが多くの会員企業でITの専門知識を持つ社員が不在で、多くの会社が弱みとしているはず」

課題解決、今後も貢献

――最後に、全特協会長として一言。

櫨「全特協という組織は、これまでの歴代会長がそうであったように、会員のために命を削るぐらいの覚悟がないといけない。会員各社が納得するように理事や運営委員が仕事をしている。あいまいで簡単に妥協する組織であってはいけない。会員が何に困っているのか、全特協は掘り出し続け、課題解決に貢献する団体でありたい」

（産業新聞社；福岡紀子、阿部拓也、北村康平）

「会員のために命を削るぐらいの覚悟」と語る櫨会長（左）と碓井副会長

理事会・委員会報告

■理事会

○第31回理事会

日　時：2023年3月29日(火)16：00 ～ 17：00　於：鉄鋼会館(ハイブリッド形式)
内　容：第1号議案 2023年度事業計画の基本方針及び予算の件
第2号議案 2023 年度収支予算の件
第3号議案 第 11 回定時総会及び講演会講師等の日程の件
第4号議案 支部運営規程及び同マニュアル並びに委員及び講師等の諸手当支給内規の一 部改正の件
第5号議案 新型コロナウィルス感染対応予防マニュアル改正の件
[報告事項]
①各委員会報告 各委員長
②人材育成事業におけるEラーニングの進捗状況報告
(人材育成WG長)
③EDI(受発注システム)進捗状況の報告(EDI WG長)

○第32回理事会

日　時：2023年5月12日(金)16：00 ～ 17：00　於：鉄鋼会館
内　容：第1号議案　2022年度の事業報告書の件
第2号議案　2022年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の件
第3号議案　第11回定時総会のスケジュールの件
第4号議案　理事の辞任及び交代並びに新任理事の選任の件
第5号議案　常勤理事の報酬額の件
第6号議案　2024年新年賀詞交歓会の件
[報告事項]
①各委員長等より第1号議案・事業報告書の補足説明

■運営委員会

○第40回運営委員会

日　時：2023年1月18日(水)15：00 ～ 16：30　於：鉄鋼会館(ハイブリッド形式)
内　容：第1号議案 2023年度事業計画の基本方針及び予算について
第2号議案 第11回定時総会日程及び開催場所並びに講演会講師の件
第3号議案 新理事候補擁立の件

○第41回運営委員会

日　時：2023年3月29日(火)14：00 ～ 15：45　於：鉄鋼会館(ハイブリッド形式)
内　容：第1号議案 2023年度事業計画の基本方針及び予算の件
第2号議案 2023年度収支予算の件
第3号議案 第11回定時総会及び講演会講師等の日程の件
第4号議案 支部運営規程及び同マニュアル並びに委員及び講師等の諸手当支給内規の一 部改正の件
第5号議案 新型コロナウィルス感染対応予防マニュアル改正の件
[周知事項]
消費税インボイス制度の説明と解説
[報告事項]
①各委員会報告 各委員長
②各支部報告(東京・東北・北関東・名古屋・静岡・大阪・中国・九州)
③人材育成事業におけるEラーニングの進捗状況報告
(人材育成WG長)
④EDI(受発注システム)進捗状況の報告(EDI WG長)

○第42回運営委員会

日　時：2023年5月12日(金)13：30 ～ 15：20　於：鉄鋼会館
内　容：(1)審議事項
①2022年度の事業報告書の件
②2022年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の件
③第11回定時総会のスケジュールの件
④理事の辞任及び交代並びに新任理事の選任の件
⑤常勤理事の報酬額の件
⑥2024年新年賀詞交歓会の件
(2)報告事項
①各委員長等より特筆すべき活動および計画の報告
②各支部長より特筆すべき活動および計画の報告

■総務委員会

○第30回総務委員会

日　時：2023年3月16日(木)15：00 ～ 17：00　於：大阪・鐵鋼會館
内　容：第1号議案 2023 年度の事業計画の件
第2号議案 2023年度収支予算の件
第3号議案 第11回定時総会及び講演会講師の件
第4号議案 支部運営規程の一部改正の件
第5号議案 新型コロナウィルス感染対応予防マニュアル改正の件

○第31回総務委員会

日　時：2023年5月8日(月)15：00 ～ 17：00　於：安保ホール
内　容：(1)審議事項
①2022年度事業報告書について
②2022年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について
③第11回定時総会及び講演会講師等の日程(案)について
④理事の辞任及び交代並びに新任理事の選任(案)について
⑤常勤理事の報酬額(案)について
⑥事業取りやめに伴う会費の減額措置の適否(案)について
⑦2024年新年賀詞交歓会(案)について

■人材育成委員会

○第26回人材育成委員会

日　時：2023年2月16日(木)15：00 ～ 17：00　於：大阪・鐵鋼會館
内　容：①2022年度販売技士・加工技士研修講座の実施実績見込みについて
②受講者管理システム STEP6 の進捗状況について
③入門編のeラーニング化進捗状況について
④2023年度人材育成事業について
⑤2023年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑥特殊鋼の未来の動画作成検討について
⑦2022年度実施の販売技士 2 級アンケート結果について
⑧次回委員会開催日程について

○販売加工技士上級編問題選定会議

日　時：2023年2月10日(金)14：00 ～ 16：00　於：安保ホール
内　容：①2022年度の販売加工技士講座実施状況について
②2022年度特殊鋼販売加工技士「上級編」検定試験の問題選定について
③検定試験、採点及び合否判定等スケジュールについて

○販売加工技士上級編合否判定会議

日　時：2023年4月10日(月)15：00 ～ 16：30　於：鉄鋼会館
内　容：①2022 年度上級編研修講座の特徴について
②特殊鋼販売加工技士上級編検定試験の合否判定について
③受講・受験者のアンケートについて
④講師講評について

○販売技士3級講師事前会議

日　時：2023年4月26日(水)15：00 ～ 16：30　於：大阪・鐵鋼會館
内　容：①2023年度人材育成事業のスケジュール等について
②2023年度販売技士 3 級研修講座について
③2023年度販売技士 1 級研修講座の集約案について

○販売技士3級問題選定会議

日　時：2023年5月22日(月)15:00 ～ 16:30　於：安保ホール
内　容：①2023年度の講師一覧表及び人材育成事業計画について
②2023年度特殊鋼販売技士3級検定試験の問題選定について
③検定試験、採点及び合否判定等今後のスケジュールについて

■調査研究委員会

○第39回調査研究委員会

日　時：2022年12月12日(水)13：00 ～ 14：30　於：鉄鋼会館
内　容：①特殊鋼流通統計調査の集計推移について
②第 103 回(7-9 月)景況アンケート調査報告について
③第 104 回(10-12 月)景況アンケートの設問について
④第 21 回経営環境等に関するアンケートの設問について
⑤2023 年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑥次回委員会日程について

○第40回調査研究委員会

日　時：2023年3月22日(水)15：00 ～ 17：00　於：安保ホール
内　容：①特殊鋼流通統計調査の集計推移について
②第104回(10-12 月)景況アンケート調査報告について
③第105回(1-3 月)景況アンケートの設問について
④第21回経営環境等に関するアンケート調査報告について
⑤2023 年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑥次回委員会日程について

■内外交流委員会

○第20回内外交流委員会

日　時：2023年2月 3日(金)16：30 ～ 17：30　於：名古屋焼馬古閑会議室
内　容：①前回の内外交流委員会議事録について
②2023 年度のオーストラリア視察研修先・日程の検討について
③2023 年度の事業計画(案)及び予算(案)について
④次回委員会開催日程について

■経営効率化委員会

○第24回経営効率化委員会

日　時：2023年2月24日(金)15：30 ～ 17：00　於：大阪・鐵鋼會館
内　容：①前回の経営効率化委員会議事録について
②2021 ～ 2022 年度玉掛講習会の補助金支給実績報告について
③2022 年度の全国ボウリング大会結果報告について
④2023 年度の全国ボウリング大会の実施計画について
⑤2023 年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑥次回委員会開催日程について

■広報委員会

○第29回広報委員会

日　時：2023年6月19日(月)15：30 ～ 17：00　於：大阪・鐵鋼會館
内　容：①広報誌「すてぃーる78号」の記事校正確認等について
②広報誌「すてぃーる79号」の記事内容等について
③2023年度事業計画及び予算について
④次回委員会日程について

■青年部会

○第11回定時総会

内　容：①2022年度事業報告及び収支報告の件
②2023年度事業計画及び収支予算の件
③運営委員選任の件

事務局だより

1 協会事務局の人事異動について

約7年専務理事（兼事務局長）としてご活躍されました「宮崎義一氏」が6月30日開催の臨時理事会（書類審査）において退任されました。長年お疲れさまでした。

また同臨時理事会において新専務理事（兼事務局長）に元経済産業省でブラザー工業（株）東京支社経営企画部渉外担当部長であった「多田俊樹」が選任されました。会員の皆様、賛助会員の皆様引き続きどうぞよろしくお願い致します。

2 「オーストラリア視察研修」参加18名を予定（内外交流委員会）

当協会の内外交流委員会は、コロナ禍にて暫く中止を余儀なくされていた海外視察研修を4年ぶりに再開することとし、9月2日より4泊6日の日程でオーストラリアのシドニーを視察訪問することになりました。

4月1日より募集を開始し5月10日に締め切った結果、18名が参加します。次号（79号）にて視察研修の様子をご報告いたします。

3 特殊鋼販売技士「2級研修講座」の開講について（人材育成委員会）

今年度は8月下旬～ 10月にかけて「2級研修講座」を各支部にて開講する予定です。研修内容は特殊鋼の鋼種別熱処理に関する基礎知識についてであり、30時間のZoomによるオンライン研修講座にて習得した後、10月17日（火）全国一斉に検定試験を実施する認定制度になっております。受講資格は、昨年度以前に「3級研修講座」を受講し「3級資格認定」を有する者となっています。

現在、東京・北関東・名古屋・静岡・大阪・中国・九州の支部事務局より開講のご案内をしておりますので、受講を希望の方は当協会のホームページのバナーより7月10日（月）13：00から7月21日（金）17：00までにお申込みください。

編集後記

会員、賛助会員の皆様方お元気にされていますか???

新型コロナが第五類に適応され日常が大分戻ってきました。でも安心してはいけません。報道されないだけで東京でも毎日 6,000 人ぐらい感染しているそうですよ。手洗いうがいを忘れずに !!! マスクは暑いので個人の意思で。ご安全に。

世界情勢はロシアとウクライナの戦争が終わりませんね。インフラ状態　資源の高騰はまだまだ継続しそうですね。日本経済は円安進行、株高と波打ってますね。波にのまれて特殊鋼の需要も低迷しております。こんな時期こそ全特協の皆様でタッグを組んで乗り越えていきたいしだいです。がまん、ガマン、頑張りましょう。

さて「すてぃ～る 78 号」を発行させていただきます。今号は全国総会、各支部の総会の模様を掲載しております。全国ボーリング大会も無事終了しました。各支部とも活動が活発化してきてます。大変よろこばしいことです。人材教育のオンライン化も定着してきました。是非一読ください。

暑さが厳しくなりそうです。お身体ご自愛ください。

久木田　至

すてぃ～るVOL.78　2023年7月10日発行　・発行者：専務理事　多田俊樹　・発行責任者：広報委員会委員長　久木田 至　・制作協力　株式会社トライ